

平成25年度
がん対策施策報告書

平成26年6月

和歌山県

目次

I	これまでの経緯	1
II	平成25 年度にがん対策の推進に関し県が講じた施策	2
	1 がん対策の推進に関する体制	2
	2 第2次和歌山県がん対策推進計画の策定	2
	3 がんの予防	3
	4 がんの早期発見	4
	5 がん教育・普及啓発	5
	6 がん医療	8
	7 がん登録	12
	8 がん研究	13
	9 がんに関する相談支援と情報提供	14
	10 がん患者の就労を含めた社会的な問題	14
	11 その他	16
III	計画に掲げる目標の達成状況	17
◆	参考資料	18

この報告書は、和歌山県がん対策推進条例第31条の規定に基づき、平成25年度にがん対策の推進に関し県が講じた施策について取りまとめたものである。

【参考】和歌山県がん対策推進条例（抜粋）

（年次報告）

第31条 知事は和歌山県がん対策推進計画に基づく施策について、毎年、実施状況を取りまとめ、速やかに県議会に報告するとともに、適切な手段を用いて県民に公表する。

I これまでの経緯

がんは、昭和 56 年に日本人の死亡原因の第 1 位となっており、本県においては昭和 54 年度以降、がんが死亡原因の第 1 位となっている。

このような中、平成 19 年 4 月 1 日に施行された「がん対策基本法」及び同法に基づく「がん対策推進基本計画」の基本理念を踏まえ、本県では、平成 20 年 4 月にがん対策基本法第 11 条に規定される都道府県計画として「和歌山県がん対策推進計画」を策定した。

しかし、平成 23 年のがんの年間粗死亡率（人口 10 万人対）は 349.2 で、全国平均 283.1 を大きく上回り、ワースト 5 位となっており、平成 23 年の 75 歳未満の年齢調整死亡率は全国と比較すると、男性でワースト 3 位、女性でワースト 2 位となっている。

平成 24 年 12 月には、「がん患者を含む全ての県民がいきいきと生活することができる地域社会の実現」、「県民自ら、がんに関する理解と関心を深め、互いに支え合い、力を合わせるにより、みんなで一体となったがん対策の推進」を目指して、「和歌山県がん対策推進条例」が全議員賛成のもと議員提案条例として制定された。

本条例は、基本理念である「七位一体の取組」を定め、行政機関（県・市町村）、県議会、県民、保健医療関係者、教育関係者、事業者の役割を明らかにするとともに、報道機関と一致協力した連携のもとで、実効性のあるがん対策を総合的にかつ効果的に推進することを目的としている。

Ⅱ 平成25年度にがん対策の推進に関し県が講じた施策

本年度に県が講じた施策は、それぞれ次のとおりである。

1 がん対策の推進に関する体制

がん対策分野における一層の施策推進を図るため、平成25年4月に、福祉保健部健康局健康推進課の「疾病対策班」の名称を「がん・疾病対策班」に変更し、人員を増員し施策の執行体制の強化を図った。

2 第2次和歌山県がん対策推進計画の策定

本県では、平成20年度に策定した基本計画から5年が経過したことから、平成25年4月に、がん教育・普及啓発やがん研究、がん患者の就労を含めた社会的な問題といった新たな課題等を踏まえた「第2次和歌山県がん対策推進計画」を策定した。

当計画では、県条例の基本理念を踏まえ、**がん死亡率の減少**を全体の目標として、増加しているがん患者を県民全体で支え、がん患者ががんと向き合いながら社会生活を続けていける「**がんとなっても安心して暮らせる支援体制の構築**」を目指すべき方向として定めている。

この基本方針を踏まえた上で、予防、早期発見、教育、医療、がん登録、研究、相談支援及び情報提供、がん患者の社会的な問題の8分野を課題として抽出し、それぞれ分野別に目標を定め、総合的かつ計画的ながん対策の推進を図っていくこととしている。

【全体目標】 がんによる死亡者数の減少

- ・10年間でがんの年齢調整死亡率（75歳未満）の25%減少
「がんの予防」「がんの早期発見」「がん医療の均てん化」ながん対策を一層充実し、全国水準までがんによる死亡者を減少させることを目標とする。

	H17	H27（目標）	目標減少率
和歌山県	98.5	73.9	25%
全国	92.4	73.9	20%

〈参考〉

平成19年4月1日	がん対策基本法施行
6月15日	国のがん対策推進基本計画（～平成24年5月）
平成20年4月1日	和歌山県がん対策推進計画（～平成25年3月）
平成24年6月8日	国のがん対策推進基本計画改定（～平成28年5月）
平成24年12月28日	和歌山県がん対策推進条例施行
平成25年4月1日	第2次和歌山県がん対策推進計画（～平成30年3月）

3 がんの予防

がんの原因は、食生活、運動等の生活習慣、喫煙（受動喫煙を含む）、ウイルスや細菌への感染などが大きく関わり、生活習慣の改善や感染予防により予防可能な要因も多くあることから、以下の施策を講じた。

（1）生活習慣改善対策

ア 「わかやま食と健康フェア」を開催し、野菜・果物摂取量の増加、食塩摂取量の減少等啓発を実施した。

開催日：平成25年10月6日

場 所：パームシティ和歌山店

イ 野菜摂取量増加の啓発用ウエットティッシュを作成し、各二次保健医療圏毎に実施している事業等で配布するとともに、食生活改善推進協議会と連携し、食塩摂取量の減少を目的とした啓発活動を実施した。

ウ 運動習慣を身につける動機付けとして、県内全市町村において「紀の国わかやま1万人健康リレーウォーク」を開催し、3,096名が参加した。

（2）たばこ対策

ア 健康への正しい理解を目的に、世界禁煙デー（5月31日）や禁煙週間（5月31日～6月6日）での街頭啓発を、各二次保健医療圏で実施した。

イ 禁煙希望者への情報提供等を目的に、和歌山県のホームページで禁煙外来、禁煙サポート薬局の情報提供を実施するとともに、「世界禁煙デーに合わせた啓発（平成25年5月26日）」や「わかやま食と健康フェア（平成25年10月6日開催（再掲）」では医師や薬剤師による禁煙相談を実施した。

ウ 学校での教育を目的に、小中高での防煙教室を二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会委員が講師となり、計55回実施し計4,449

名が受講した。

- エ 喫煙との関わりが指摘されている乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症防止にかかる妊婦や家族の禁煙の必要性について、「お母さんと赤ちゃんの健康ガイド」に掲載し、全妊婦に情報提供を実施するとともに、啓発用リーフレットを市町村、保健所、医療機関に送付し、市町村で赤ちゃん訪問時や母子健康手帳配布時にリーフレットを用いて禁煙指導を実施した。

（3）感染に起因するがんへの対策

- ア 県内19市町村が肝炎ウイルス検診の個別勧奨事業を実施した。また、緊急肝炎ウイルス検査については、県立各保健所及び県内約500か所の協力医療機関で、無料で受検できる体制を構築しており、計232件実施した。
これら検査の結果、陽性者にはウイルス肝炎治療に係る専門医療機関を受診するよう保健所、検査実施医療機関を通じて適切に指導している。
- イ 肝炎の医療費助成制度は、平成25年11月から、新薬であるシメプレビルを含む3剤併用療法がインターフェロン治療の対象に追加される等、対象の拡大を図った。受給者証の交付実績については、インターフェロン治療272件、核酸アナログ製剤治療479件となっている。
- ウ 肝疾患診療連携拠点病院である和歌山県立医科大学附属病院と国立病院機構南和歌山医療センターの2か所に開設している肝疾患相談支援センターにおいて、治療や医療費助成制度等に対する相談を無料で実施するとともに、県民公開講座、医療従事者に対する研修会、イベント等での出張型検診、出前相談等の事業を実施した。
- エ 成人T細胞白血病（ATL）対策のため、県立各保健所で無料でのHTLV-1抗体検査を6件実施した。
- オ 胃がん発症予防のため、平成26年度から希望者に対するピロリ菌検査の費用について、市町村補助の実施をすることを決定した。

4 がんの早期発見

がんによる死亡を防ぐためには、がんにならないようにすることが重要であるが、がんの予防のため生活習慣等の改善に心がけたとしても、全てのがんを予防することは困難である。

しかし、進行していない初期の段階でがんを発見し、適切な治療を行うこ

とが出来れば、治癒する可能性は高い。

そのため、がんを早期の段階で見つけることができるがん検診は、がんの死亡率を下げるのに非常に有効な方法であり、がん検診の受診率の向上について、以下の施策を講じた。

(1) がん検診の普及啓発

ア 市町村と連携してがん検診の受診率を向上させる目的で、和歌山県がん検診推進支援事業を実施し、検診対象年齢者に対し、5がん（胃、肺、大腸、子宮頸部、乳）の検診の個別受診勧奨にかかる費用の補助を市町村に対して実施した。

また、胃がん、肺がん、乳がん検診について、集団検診実施機関毎のプロセス指標や事業評価の状況を各市町村に情報提供した。

イ 「みんな受けようがん検診」パンフレットを作成し、がん検診受診促進企業を通して、顧客・従業員等へ配布するとともに、県内事業所約4万ヶ所に対し、事業者・県民の役割についての啓発を実施した。

(2) 検診車・検診機器整備

ア 県内において広域的に集団検診を実施している「公益財団法人和歌山県民総合検診センター」に対し検診車の無償貸与を行っており、平成25年度は検診機器のデジタル化に伴う平成26年度の胃部検診車及び胸部検診車各1台の導入について予算化を実施した。

県が保有するがん検診車の半数以上が10年以上経過していることから、効果的で効率的な検診が図られるよう計画的な整備・更新を行っていく。

イ 和歌山市と連携して集団検診を実施している「一般社団法人 和歌山市医師会」のデジタル胸部検診車の導入に伴う受診促進等について支援を行った。

5 がん教育・普及啓発

健康に関する意識を高めるには、子どもの頃からの教育が重要であり、がんに関する正しい知識を持ち、がんを身近な問題として捉えることにより、がんを予防する生活習慣を身につけることができる。

さらに、県民一人ひとりががん予防や早期発見につながる行動を行い、がん罹患してもそれに正しく理解し向き合うことができ、また、患者やその家族が症状を理解し関心を深めるために、がんに関する普及啓発活動を推進していく必要があることから、以下の施策を講じた。

- (1) 二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会委員が講師となり、小中高校で防煙教室を実施し、計55回、4,449名が受講した(再掲)。
- (2) 喫煙の悪影響等も含んだ各学校の薬物乱用防止教室の開催を推進し、指導者の資質向上を目指した「薬物乱用防止教室研修会」を紀北・紀南で開催した。
- (3) 各学校の実情や児童生徒の発達の段階に応じた「喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室」を開催した。
- (4) 和歌山県がん検診受診促進企業、和歌山市との共催により、がんに関する情報をまとめたパネル等の展示を行う「がんを知る展」を開催した。
開催日：平成25年6月14日～16日
場 所：パームシティ和歌山店
- (5) 10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に、和歌山県がん検診受診促進企業及び和歌山市と連携し、啓発イベントを開催し、大腸がんに関する体験型展示やクイズラリー、大腸がん検診の受付、肺年齢測定、パネル展示、啓発物資の配布等を行った。
開催日：平成25年10月12日
場 所：パームシティ和歌山店
- (6) 若年層への普及啓発として、和歌山大学で開催された和大祭で子宮頸がん検診の啓発を実施した。
開催日：平成25年11月23日
場 所：和歌山大学構内
- (7) がんについての情報提供やがん検診受診促進のため、以下の広報を実施した。
 - ア 早期発見・早期治療が重要であることを周知するため、(株)テレビ和歌山で15秒スポットCMを計30回実施した。
 - イ 和歌山放送の「県民だより」でがん検診受診の周知を行った。
- (8) がんについての情報や和歌山県の医療等について、総合的に情報提供を行う「わかやま がんネット」(http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/041200/h_sippeigannet/00.html)を、県の福祉保健部健康局健康推進課

のホームページ内に開設した。

(9) 和歌山県がん対策推進条例における各機関等の役割を明記した、「第2次和歌山県がん対策推進計画」や「和歌山県のがん対策」のパンフレットを作成し、県内市町村・病院等に配布した。

(10) がんについての情報等について、県民がより理解を深めてもらえるように、和歌山県立図書館において以下の施策を実施した。

ア 特別コーナーとして設置している「がん」関係図書コーナーに、新刊図書等約700冊の図書を部位別及び闘病記に分類して配置し、県民のリクエストに対応したがん関係図書の貸し出しを実施した。

イ 平成26年1月にホームページリニューアルに併せて、がん関係資料の紹介の充実を図るとともに、関連団体等との相互リンクにより情報提供をさらに充実した。

ウ がん関係のパンフレットの配布や啓発ポスター、関係トピックスを掲示した。また、NPO 法人キャンサーリボنزの協力でパネル展示による「がん治療中の生活情報」を提供した。

開催日：平成26年3月1日～23日

場 所：「がん」関係図書コーナー

エ がんに対する理解をより深めるため、以下の県民参加型の取組を実施した。

(ア) がん患者や家族、医療者等がんに関わる方が集まって想いを語り合う病院外の間として、平成25年7月に「図書館いきいきサロン」を設置した。

開催日：毎月第1日曜日 14時～16時

会 場：和歌山県立図書館2階

(イ) がん患者・家族・県民のために公開講座として県立医科大学附属病院地域連携室と県立図書館の共催により、和歌山県立図書館スプリング遊 i n g 2014 記念講演会「がんと向きあって」を開催した。

開催日：平成26年3月16日

会 場：和歌山県立図書館メディア・アート・ホール

(11) 県民のがんに対する理解を深めてもらう等の目的で、以下の事業に対して後援を行った。

ア がん制圧月間

目 的：がんに対する正しい知識とがん検診受診率向上を広くアピールする

開催日：平成25年9月1日～9月30日

主 催：(公財)和歌山県民総合検診センター、和歌山県医師会

イ もっと知ってほしい肺がんのこと2013 in和歌山

目 的：「肺がん」についての正しい知識を普及・啓発する

開催日：平成25年10月12日

場 所：和歌山市民会館

主 催：特定非営利活動法人 キャンサーネットジャパン

ウ ピンクリボン紀南2013熊野本宮大社ピンクライトアップ

目 的：乳がん早期発見の重要性を周知、乳がん検診受診率向上

開催日：平成25年10月13日

場 所：熊野本宮大社 旧社地大斎原大鳥居

主 催：ピンクリボン紀南

6 がん医療

がんによる死亡者の減少には、質の高いがん医療を提供することが必要である。

そのため、県内の拠点病院や推進病院の診療機能、治療水準の向上と連携・協力体制を強化し、専門的な医療従事者の養成や多職種によるチーム医療を推進するため、以下の施策を講じた。

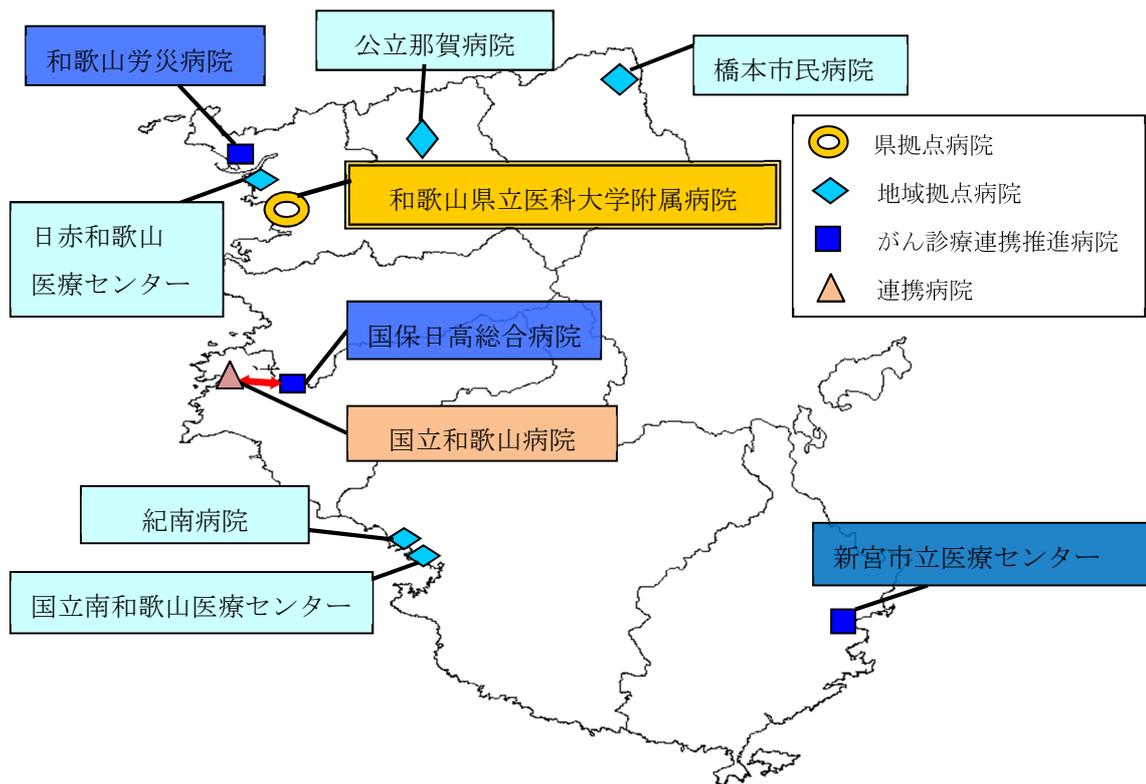
(1) がん診療体制の整備・充実

がん診療体制の整備・充実については、国の「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、拠点となる病院を二次保健医療圏毎に指定し、指定要件を満たす病院がない二次保健医療圏については、県で独自に基準を定めて「和歌山県がん診療連携推進病院」を指定し、県内のがん診療の均てん化に取り組んでいる。県内のがん診療連携拠点病院及びがん診療連携推進病院について、以下の支援を実施した。

- ア 拠点病院が実施する専門的な医師等の育成のための化学療法や放射線療法の研修会の開催及び緩和ケアや化学療法、地域がん登録等に関わる専門的な医療従事者の養成について支援を実施した。
更に、県拠点病院の緩和ケアセンターの整備について支援を実施した。
- イ 県推進病院が実施する緩和ケアの研修会の開催や院内がん登録等について支援を実施した。

〈県内のがん診療連携拠点病院・がん診療連携推進病院〉

	保健医療圏	医療機関名
県がん診療連携拠点病院	和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
地域がん診療連携拠点病院	和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
	那賀	公立那賀病院
	橋本	橋本市民病院
	田辺	紀南病院 国立南和歌山医療センター
県がん診療連携推進病院	和歌山	和歌山労災病院
	御坊	国保日高総合病院
	新宮	新宮市立医療センター



(2) 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進

ア 県のがん診療に関する高度医療、患者家族への支援などを行う拠点整備のため、平成26年3月に和歌山県立医科大学附属病院に新設した東棟に、手術室を増設するとともに、内視鏡検査・治療室、化学療法

センターを拡充した。

手術室（12室→19室）

内視鏡検査・治療室（5床→9床）

化学療法センター（15床→20床）

- イ 拠点病院等と地域の歯科診療所との連携推進のため、一般社団法人和歌山県歯科医師会・和歌山県立医科大学附属病院口腔ケアチーム主催県民公開講座「みんなで知ろうがん治療と口腔ケア～口の中の細菌の恐怖～」を開催した。

開催日：平成25年9月29日

場 所：和歌山県民文化会館

- ウ 時代に即応した高度で先進的ながん医療を実施する施設整備として、新宮医療圏の拠点病院である新宮市立医療センターにIMRT（強度変調放射線治療）対応のリニアックの整備を行った。

(3) がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成

がん専門医療者の充実を目指して、高い専門性と優れた看護実践能力をもっているがん看護専門看護師を目指す看護師が、和歌山県内で日本看護協会の認定審査の受験資格を取得できるように、和歌山県立医科大学の大学院保健看護学研究科博士前期課程にがん看護専門看護師コースを設置した（平成26年度から開講）。

(4) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

がん患者やその家族ががんと診断された時から抱える様々な苦痛を軽減し、質の高い療養生活を送ることができるよう、がんの診断、治療、在宅療養など様々な場面において緩和ケアが切れ目なく実施される必要がある。

そのため、緩和ケア研修会をがん診療連携拠点病院及び推進病院で計9回開催し、医師89名、医師以外の医療従事者182名が修了した。平成25年度末での修了者数は計1,040名（医師698名 コメディカル342名）となった。

(5) 地域の医療・介護サービス提供体制の構築

がん患者がその地域にかかわらず等しく質の高いがん医療を受けられるよう、新宮医療圏の拠点病院である新宮市立医療センターに、時代に即応した高度で先進的ながん医療を実施する施設整備として、IMRT（強度変調放射線治療）対応のリニアック整備を行った（再掲）。

(6) その他のがん医療体制の充実

がん治療において運動機能の改善や生活機能の低下予防に資するためには、がん患者に対する質の高いリハビリテーションに取り組む必要があることから、和歌山県がんリハ研修会実行委員会、和歌山県立医科大学附属病院が主催し、「平成25年度がんのリハビリテーション研修会 in 和歌山」を開催した。

開催日：平成26年2月22日～2月23日

会場：和歌山県立医科大学高度医療人育成センター

定員：12チーム ※1チームあたり3～4名

(7) 「本県に多いがん・難治性がん・希少がん」の対策

ア. 肺がん、膵臓がん、肝臓がん対策

- a. 県内19市町村が肝炎ウイルス検診の個別勧奨事業を実施した。また、緊急肝炎ウイルス検査については、県立各保健所及び県内約500か所の協力医療機関で、無料で受検できる体制を構築しており、計232件実施した。

これら検査の結果、陽性者にはウイルス肝炎治療に係る専門医療機関を受診するよう保健所、検査実施医療機関を通じて適切に指導している（再掲）。

- b. がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に、和歌山県がん検診受診促進企業、和歌山市と連携し、啓発イベントを開催し、肺年齢測定、パネル展示、啓発物資の配布等を行った（再掲）。

なお、平成26年度からはがん検診の充実のため、低線量肺がんCT検診についても取組を始めていく。

イ. 胃がん・大腸がん

- a. がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に、和歌山県がん検診受診促進企業、和歌山市と連携し、啓発イベントを開催し、大腸がんに関する体験型展示やクイズラリー、大腸がん検診の受付、パネル展示、啓発物資の配布等を行った（再掲）。

- b. 胃がんについては、平成26年度から胃がんと密接に関連していると言われているピロリ菌検査について、胃がん予防の一環として取組を始めていく。

ウ. 女性に特有のがん対策

- a. 全市町村において、節目年齢の方へ、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンによる個別勧奨を実施した。

また、県内13市町村において乳がん、9市町村において子宮頸がんの個別勧奨を実施した。

- b. 若年層への普及啓発として、和歌山大学で開催された和太祭で子宮頸がん検診の啓発を実施した（再掲）。

開催日：平成25年11月23日

場 所：和歌山大学構内

エ. 小児がん対策

- a. 小児がん患者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、療養生活に関する相談や医療・福祉制度、家族会に関する情報の提供を行った。

相談件数：18件（面接9件、電話9件）

- b. 和歌山県立医科大学附属病院において小児科病棟を改修の上、小児医療センターを新設し、準無菌室（5床）の整備等を行った。

オ. 骨髄移植等の推進

- a. 骨髄移植等の理解を深めるために、平成25年9月7日に、県民を対象に医療講演会を開催するとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会やイベント開催時にリーフレットやティッシュ等の配布を実施した。

- b. 県立各保健所（支所）及び土日祝日に対応可能な和歌山駅前献血ルームに骨髄バンクドナー登録窓口を設置しており、計40名が登録した。

- c. 献血併行型骨髄バンクドナー登録会を計57回実施し、計499名が登録した。

- ・休日（土日祝日）開催は16回。

- ・若年層の登録者増加推進のための県内大学での開催は3回（36名登録）。

- d. 若年層の登録者増加推進のため、上記登録会開催とともに、県内大学生22名を対象に骨髄バンクドナー登録会説明員養成研修会を実施した。

7 がん登録

がん対策には、がんに関係する情報の正確な把握が不可欠で、その情報から課題を見出し、がん対策に反映させる仕組みが重要である。

このため、県では、がんの罹患率及び生存率等の推計等、がんに関する詳細な情報を収集・解析することにより、今後のがん対策を効果的に推進するため、平成23年度から地域がん登録を実施しており、以下の施策を講じた。

- (1) 地域がん登録において、効率的な予後調査体制の構築や院内がん登録を推進し、がん登録の精度向上のため、和歌山県がん診療連携協議会がん登録部会により、院内がん登録の実務者研修及び希望する医療機関に対する訪問研修を実施した。

実務者研修

第1回 開催日：平成25年7月19日

場 所：南和歌山医療センター

第2回 開催日：平成25年11月26日

場 所：和歌山県立医科大学

- (2) 地域がん登録において、罹患率のより正確な把握のために、国立がん研究センター罹患モニタリング集計が定める基準を満たす、精度向上の取り組みを実施し、2010年の罹患集計において基準を満たした。

- (3) 平成25年12月に、「和歌山県地域がん登録事業報告書 平成22年(2010年)罹患集計」を和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター がん登録室と協同で作成した。

8 がん研究

がんの発病予防の解明、効果的ながんの予防、診断及び治療に関する方法の開発その他の研究について情報を収集するとともに情報を広く公開し、がん研究の推進に取り組むため、以下の施策を講じた。

- (1) 胃がん、肺がん、乳がん検診について、集団検診実施機関毎のプロセス指標及び各市町村別のプロセス指標や事業評価の状況を各市町村に情報提供した(再掲)。
- (2) 地域がん登録において、罹患率のより正確な把握のために、国立がん研究センター罹患モニタリング集計が定める基準を満たす、精度向上の取り組みを実施し、2010年の罹患集計において基準を満たした(再掲)。

また、和歌山県立医科大学等で、がんの発病予防の解明、効果的ながんの予防、診断及び治療に関する方法の開発やその他の研究について、それぞれ取り組んでいる。

9 がんに関する相談支援と情報提供

がん患者やその家族は、病状、医療機関や治療方法の選択、仕事と治療の両立など様々な不安を抱えていることから、拠点病院や推進病院の相談支援体制の強化を図るとともに、医療機関の情報など情報提供体制の強化のため、以下の施策を講じた。

(1) がん患者やその家族や地域の方々に対して、がんの治療や療養生活全般の質問や相談を受けるなど、がんに関する情報提供を行う目的で各がん診療連携拠点病院や推進病院に設置している相談支援センターについて、相談体制を支援した。

(2) がん患者及びその家族に対し、悩み等を共有し支援する体制の充実を図るため、NPO 法人いきいき和歌山がんサポートとの共催により、がん患者ピアサポーター研修会を実施した。

第1回 開催日：平成25年11月3日～4日

場 所：和歌山県民文化会館

第2回 開催日：平成26年2月15日～16日

場 所：南和歌山医療センター

(3) 「わかやま がんネット」を、平成26年3月27日に県の福祉保健部健康局健康推進課のホームページ内に開設し、がん相談支援センターの情報や、日本対がん協会のがん相談ホットラインを掲載した（再掲）。

10 がん患者の就労を含めた社会的な問題

がん患者とその家族は、社会とのつながりを失うことに対する不安や仕事と治療の両立が難しいなど社会的苦痛を抱えている。

がん患者とその家族の精神心理的苦痛・社会的苦痛を和らげるため、新たに、がん患者とその家族を社会全体で支える取組を実施し、「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を実現することを目標として、以下の施策を講じた。

(1) 「わかやま がんネット」を平成26年3月27日に県の福祉保健部健康局健康推進課のホームページ内に開設し、相談支援センターの連絡先等について掲載した（再掲）。

(2) 市町村実施のがん検診推進事業で同封するがん検診手帳に、相談支援セ

ンターについての掲載ができるよう、住所・連絡先等の情報提供を市町村に行った。

〈和歌山県内のがん相談支援センター〉

機関名	所在地	電話番号	対応日・時間
和歌山県立医科大学 附属病院 がん相談支援センター	和歌山市紀三 井寺 811-1	073-441-0778 (直通)	平日 8時45分～17時30分
日本赤十字社 和歌山医療センター 総合相談支援センター	和歌山市小松 原通 4-20	073-422-4171 (代表)	平日 9時～17時30分
公立那賀病院 相談支援センター	紀の川市打田 1282	0736-78-3892 (直通)	平日 9時～16時
橋本市民病院 がん相談支援室	橋本市小峰台 2-8-1	0736-34-6116 (直通)	平日 9時～16時
紀南病院 がん相談支援センター	田辺市新庄町 46-70	0739-22-5118 (直通)	平日 8時30分～17時15分
国立病院機構 南和歌山医療センター がん相談支援センター	田辺市たきない 町 27-1	0120-92-8160 (直通)	平日 8時30分～17時
和歌山労災病院 患者サポートセンター	和歌山市木ノ本 93-1	073-451-3181 (代表)	平日 9時～16時30分
国保日高総合病院 相談支援センター	御坊市藪 116-2	0738-24-1786 (直通)	平日 9時～16時
新宮市立医療センター 地域医療連携室	新宮市蜂伏 18-7	0735-31-3333 (代表)	平日 8時30分～17時

1.1 その他

県のがんの予防や対策に対する検討等のため、以下の委員会・部会を開催した。

(1) 和歌山県がん対策推進委員会

開催日：平成26年2月5日

内 容：県のがん対策に対する平成25年度の実施報告及び平成26年度の実施説明

(2) 和歌山県生活習慣病検診管理指導協議会 胃がん部会

開催日：平成25年12月20日

内 容：県内の胃がん死亡及びがん検診実施状況報告と精度管理について

(3) 和歌山県生活習慣病検診管理指導協議会 肺がん部会

ア 開催日：平成25年11月6日

内 容：県内の肺がん死亡及びがん検診実施状況報告と精度管理等について

イ 開催日：平成26年3月19日

内 容：肺がんCT検診について

(4) 和歌山県生活習慣病検診管理指導協議会 乳がん部会

開催日：平成25年9月7日

内 容：県内の乳がん死亡及びがん検診実施状況報告と精度管理及び検診実施要領改訂について

(5) 和歌山県感染症対策委員会 肝炎対策部会

開催日：平成25年11月29日

内 容：肝疾患に関する専門医療機関の選定及び和歌山県における肝炎対策の強化について

Ⅲ 計画に掲げる全体目標の達成状況

第2次和歌山県がん対策推進計画において全体目標と設定している、10年間でがんの年齢調整死亡率（75歳未満）の25%減少については、平成24年は87.7で減少傾向にあるものの、目標値の73.9をまだ上回っている状況である。

	H17	H24	H27（目標）	目標減少率
和歌山県	98.5	87.7	73.9	25%
全国	92.4	81.3	73.9	20%

《參考資料》

第2次和歌山県がん対策推進計画（H25年度～H29年度）

全体目標

がんによる死に率の減少
(年齢調整死亡率(75歳未満)98.5(H17)→73.9(H27))

がんになっても安心して暮らせる支援体制の構築

1 がんの予防

施策
1 生活習慣改善対策 ・がんに関連する食生活や運動習慣など生活習慣の改善 2 たばこ対策 ・受動喫煙防止や禁煙支援などたばこ対策の推進 3 感染症起因するがんへの対策 ・子宮頸がんの予防、肝炎対策
個別目標
【生活習慣改善対策】 ①野菜摂取量(成人1日)：350g以上【5年以内】 ②果物摂取量(成人1日)：200g以上【5年以内】 ③食塩摂取量(成人1日)：1.0g未満【5年以内】 ④運動習慣者割合：成人男性4%以下、成人女性1.5%以下【5年以内】 ⑤運動習慣者：成人男性3.9%、成人女性3.5%【5年以内】 【たばこ対策】 ①喫煙率(成人)：1.2%以下【10年以内】 ②受動喫煙(未成年)：0%【10年以内】 ③受動喫煙(行政機関・医療機関)：0%【10年以内】 ④受動喫煙(店舗)：3%【10年以内】 ⑤受動喫煙(飲食店)：1.5%【10年以内】 ⑥受動喫煙(店舗)：0%【8年以内】 【感染症対策】(新) ・感染症に起因するがんへの対策を推進することにより、がんを予防

個別目標
①全和歌山県民等ががん検診の機会を確保し、がんの早期発見・早期治療の機会を拡大する。

2 がんの早期発見

施策
検診受診率の向上 ・市町村と連携した効果的な受診勧奨(新政策) ・事業所でのがん検診実施促進と受診勧奨(新) ・市町村が行うがん検診の推進・普及と受診勧奨 ・がん検診に関する市町村・県民・保健医療関係者・事業者の役割の広範と啓発
個別目標
①各がん検診受診率：50%以上(胃・肺・大腸は40%【5年以内】) ②精密検査受診率：9.0%【5年以内】 ③全ての市町村が精度管理・事業評価を実施。科学的根拠に基づく検診を実施。【5年以内】

(新) 3 がん教育・普及啓発

施策
1 がんに関する正しい知識を深める教育の充実 2 がんに関する普及啓発活動
個別目標
・子どもの頃から、がんに関する正しい知識やがん患者に対する正しい認識を深める教育の充実、食生活等の生活習慣が健康に及ぼす影響、県民一人ひとりが、喫煙、食生活等の生活習慣が健康に及ぼす影響等がんに関する正しい知識を深め、積極的にがん検診を受診するよう、普及啓発活動を推進 ・拠点病院等医療機関の情報提供の推進

4 がん医療

施策
1 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進(新) ・チーム医療の推進、医療連携の推進 2 がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成(新) ・専門医療従事者の育成、拠点病院の専門医師等配置体制の公表 3 がん検診された後からの緩和ケアの推進 ・がん検診を受けた医師、医療従事者への緩和ケア研修の推進(医療従事者新) ・緩和ケアの普及・推進 ・がん検診と緩和ケアの連携による治療の推進 4 緩和ケアの充実 ・がん検診と緩和ケアの連携による治療の推進 5 その他のがん医療体制の充実(新) ・がん検診の物理診断、リハビリテーション強化 6 「本質に多いがん・難治性がん・希少がん」の対策(新) ・小児がん対策・肺・肝臓・膵臓・胃・大腸がんなど個別がん対策 ・女性に特有のがん(乳・子宮がん)の対策 骨髄移植の推進
個別目標
①全拠点病院等にチーム医療体制を整備【3年以内】 ②拠点病院のがん専門医、専門医療従事者の配備体制公表【5年以内】 ③がん検診に携わる全医療従事者が緩和ケアの知識を習得【5年以内】 ④拠点病院の外がん検診に携わる全医師が緩和ケア研修を修了【5年以内】 ⑤拠点病院を中心に、緩和ケアを迅速に提供できる診療体制を整備【3年以内】 ⑥緩和ケアチームや緩和ケア外来など緩和ケア提供体制の整備【3年以内】 ⑦患者の居住する地域にかけわらす等しく質の高いがん医療を受けられるよう拠点病院の機能をさらに充実 ⑧患者が住み慣れた家庭や地域での療養を選択できるような在宅医療・介護サービス提供体制の構築

5 がん登録

施策
1 地域がん登録の推進 地域がん登録協力医療機関の推進 2 院内がん登録の推進 院内がん登録協力医療機関の推進
個別目標
・効果的な予後調査体制の構築や院内がん登録を実施する医療機関数の増加を通じて、がん登録の精度を向上【5年以内】

(新) 6 がん研究

施策
がんの発症原因・予防・治療に関する情報収集 ・がん登録推進等がんの地域特性把握 ・効果的ながん予防などがんに関する研究の情報収集
個別目標
・がんの発症原因の解明、効果的ながんの予防、診断及び治療に関する方法の確立その他の研究について情報を収集するとともに、情報を広く公開し、研究を推進する。

7 がんに関する相談支援と情報提供

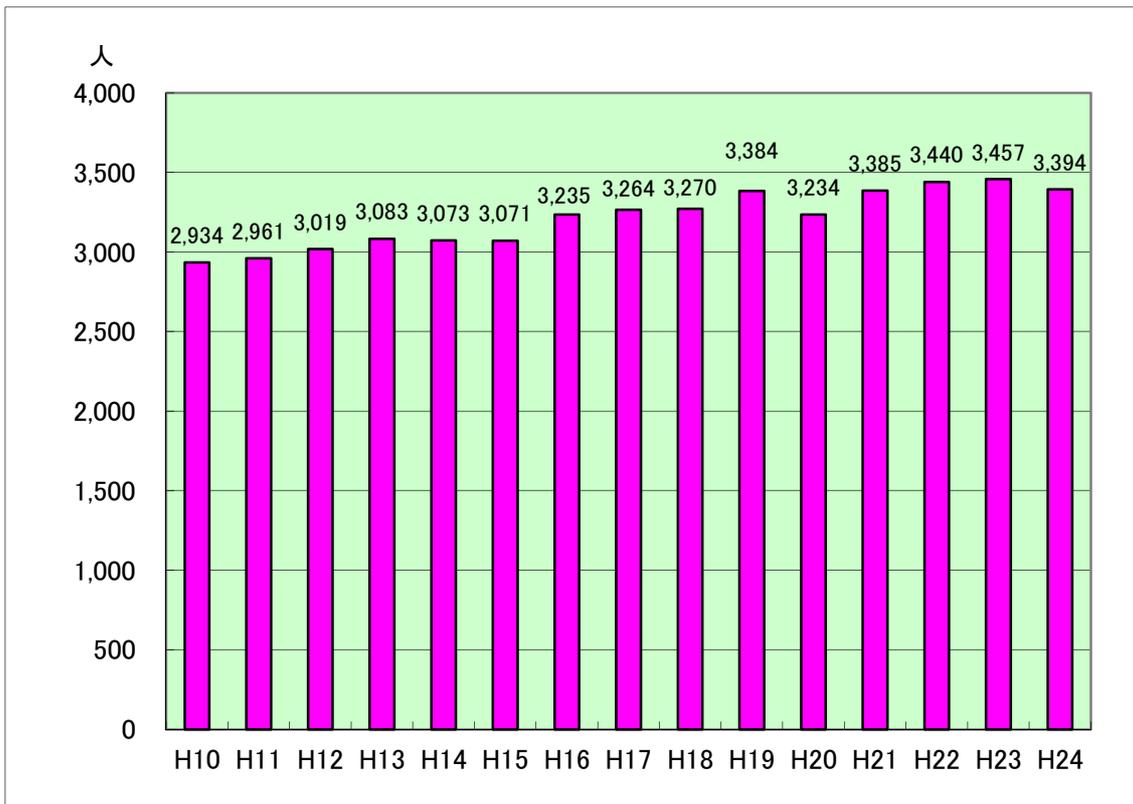
施策
1 相談体制の充実 拠点病院の相談支援センターの機能強化 2 情報提供体制の充実 拠点病院の情報提供体制の充実
個別目標
・患者とその家族の悩みや不安を汲み上げ、患者とその家族にとつてより活用しやすい相談支援体制を実現

(新) 8 がん患者の就労を含めた社会的な問題

施策
就労を含めた様々な問題への相談体制の構築 ・拠点病院の相談支援センターの機能強化
個別目標
・拠点病院の相談支援センターにおいて、がん患者の就労を含めた様々な社会的な問題に対応できる相談体制を構築

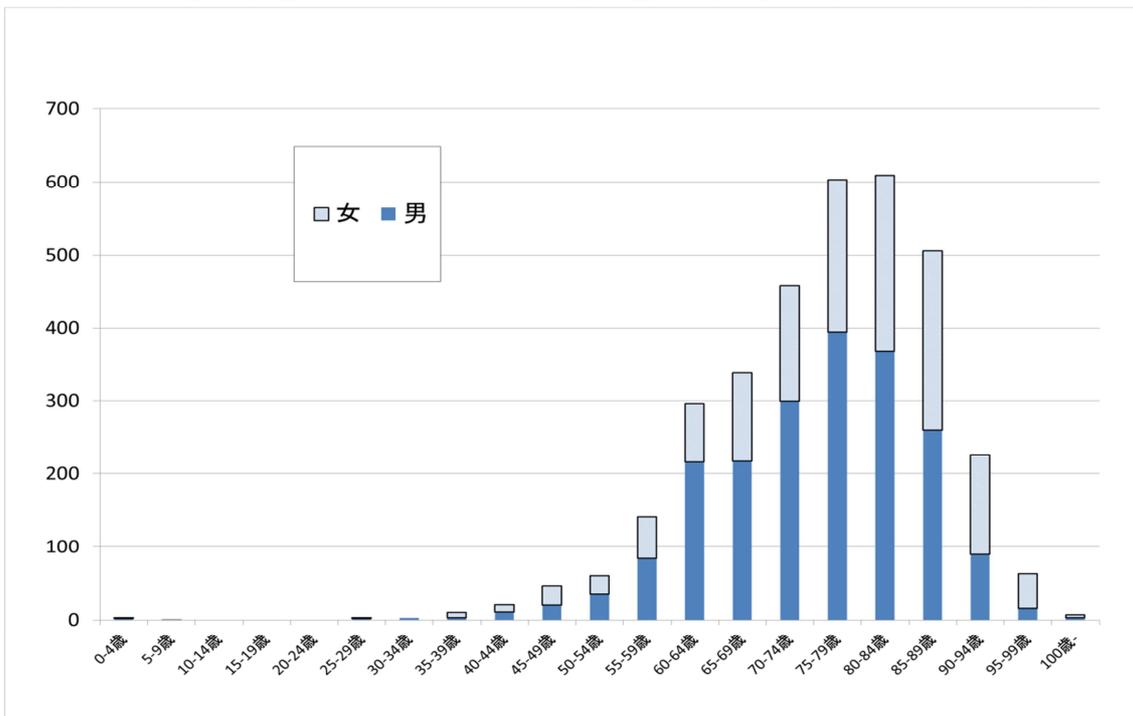
分野別施策と個別目標

〈悪性新生物（がん）死亡数年次推移（和歌山県）〉



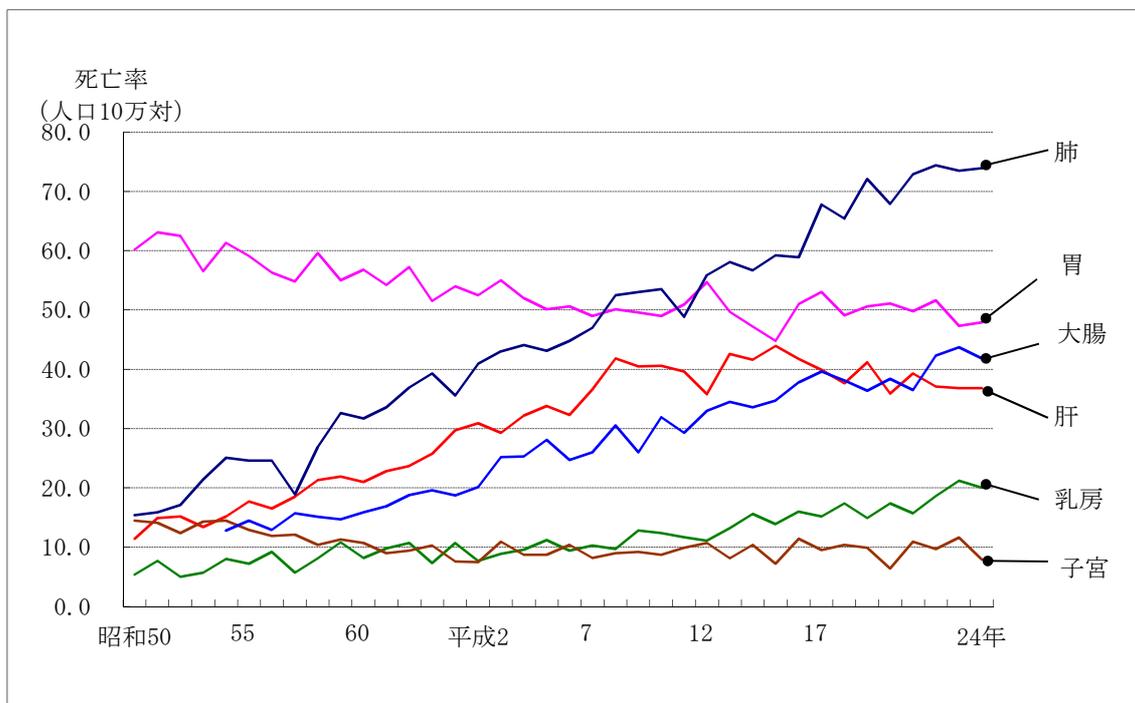
（出典：平成 24 年人口動態統計（確定数））

〈年齢 5 歳階級別悪性新生物（がん）死亡者数（和歌山県 2012 年）〉



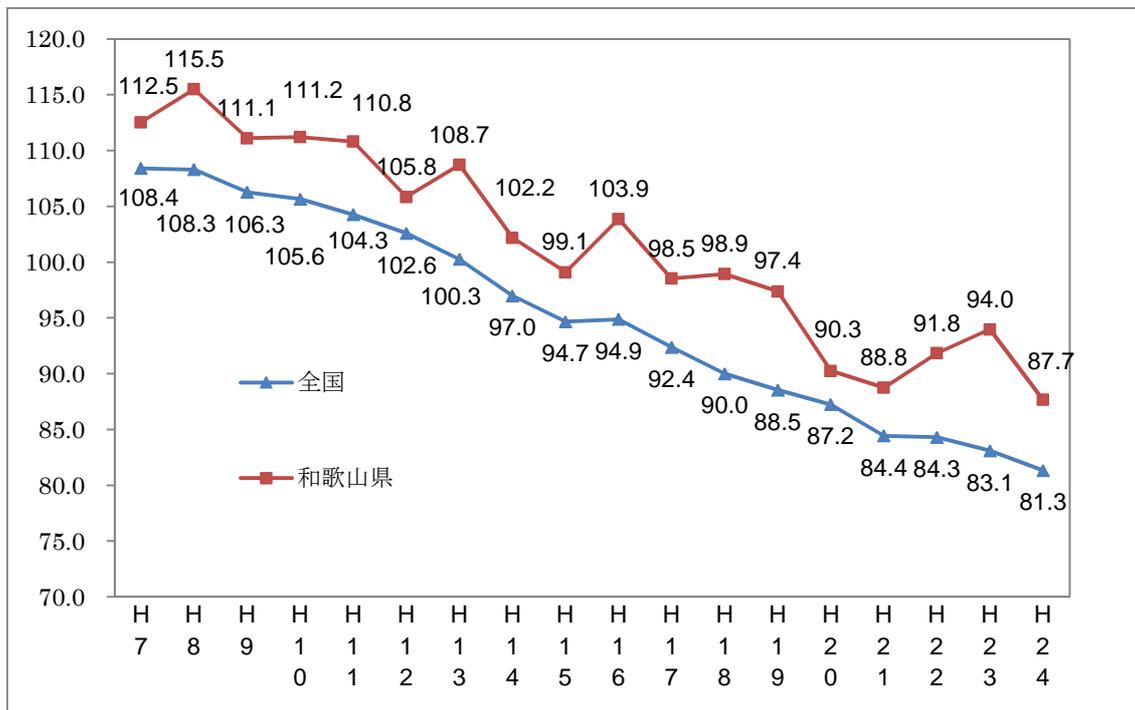
（出典：平成 24 年人口動態統計（確定数））

〈悪性新生物（がん）の主な部位別粗死亡率の年次推移（和歌山県）〉



(出典：平成 24 年人口動態統計（確定数）)

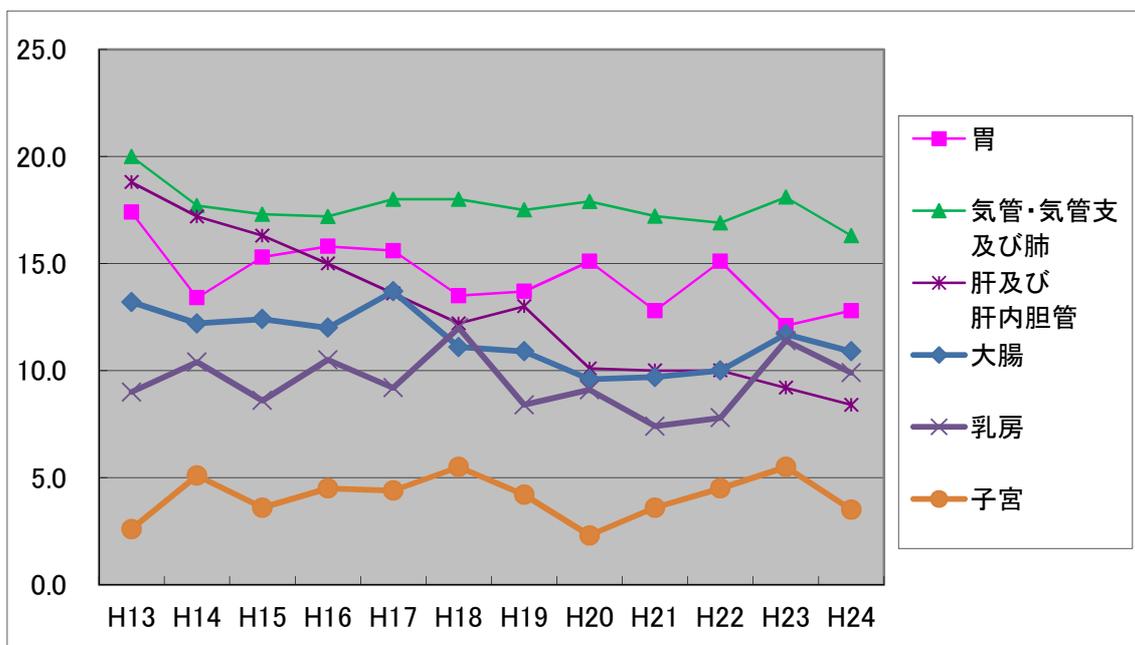
〈悪性新生物（がん）75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（男女計）〉



※ 死亡率は人口10万対の数値

（出典：国立がん研究センター）

〈悪性新生物（がん）の75歳未満部位別年齢調整死亡率の年次推移（和歌山県）〉



※ 死亡率は人口10万対の数値

（出典：国立がん研究センター）

〈悪性新生物（がん）の75歳未満部位別年齢調整死亡率の年次推移〉

（率・ワースト順位）

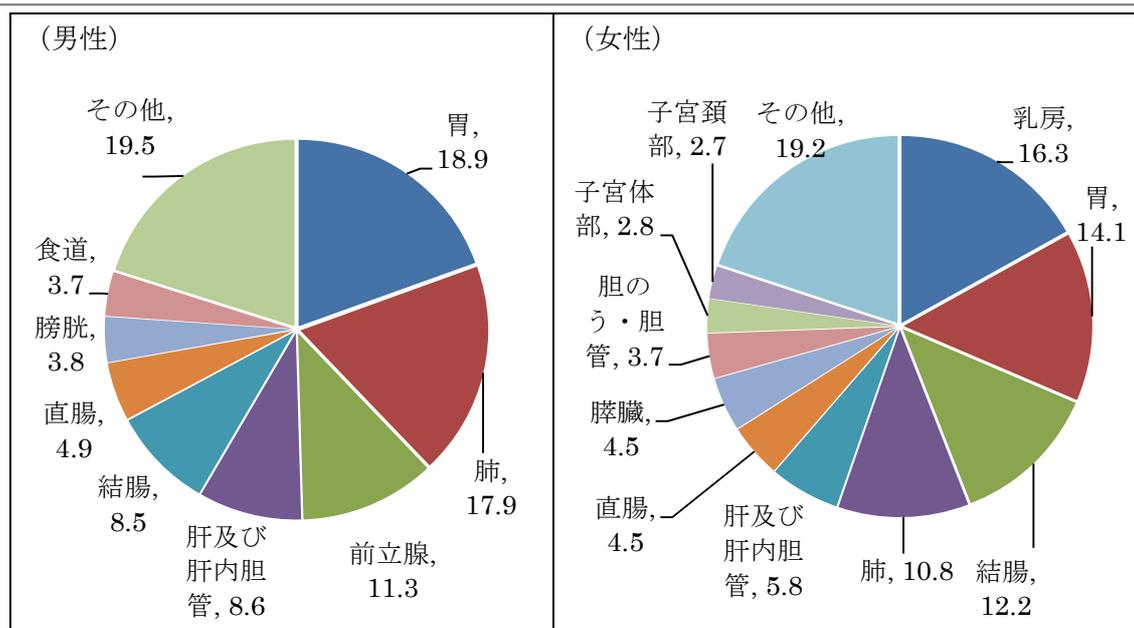
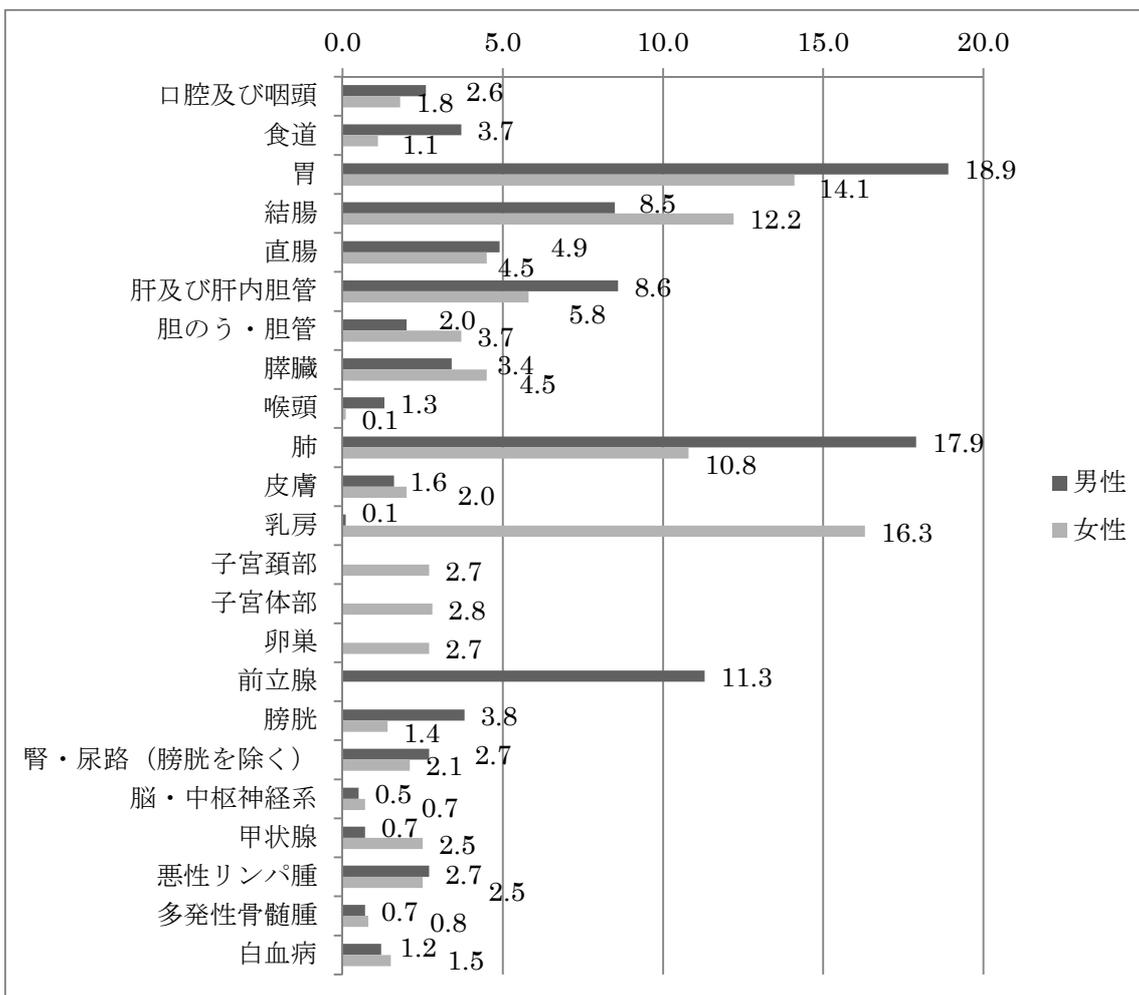
		全部位		胃		気管・気管支及び肺		大腸		肝及び肝内胆管		子宮		乳房	
		死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位
平成24年	和歌山県	87.7	4	12.8	3	16.3	3	10.9	16	8.4	7	3.5	43	9.9	22
	全 国	81.3		10.5		14.8		10.5		6.4		4.6		10.2	
平成23年	和歌山県	94.0	2	12.1	12	18.1	3	11.7	6	9.2	4	5.5	6	11.4	10
	全 国	83.1		11.0		14.9		10.5		7.0		4.6		10.8	
平成22年	和歌山県	91.8	4	15.1	2	16.9	5	10.0	25	10.0	6	4.5	23	7.8	47
	全 国	84.3		11.4		15.1		10.3		7.6		4.5		10.8	
平成21年	和歌山県	88.8	9	12.8	12	17.2	4	9.7	26	10.0	8	3.6	38	7.4	46
	全 国	84.4		11.8		14.9		10.1		7.9		4.2		10.6	
平成20年	和歌山県	90.3	9	15.1	3	17.9	2	9.6	33	10.1	10	2.3	47	9.1	40
	全 国	87.2		12.2		15.3		10.5		8.7		4.4		10.8	
平成19年	和歌山県	97.4	3	13.7	12	17.5	4	10.9	17	13.0	5	4.2	21	8.4	42
	全 国	88.5		12.7		15.3		10.9		9.3		4.2		10.5	
平成18年	和歌山県	98.9	2	13.5	22	18.0	2	11.1	17	12.2	8	5.5	2	12.0	6
	全 国	90.0		13.2		15.5		10.9		9.8		4.3		10.7	
平成17年	和歌山県	98.5	5	15.6	4	18.0	3	13.7	1	13.6	8	4.4	16	9.2	33
	全 国	92.4		13.2		15.6		11.2		10.6		4.3		10.4	
平成16年	和歌山県	103.9	3	15.8	11	17.2	4	12.0	12	15.0	7	4.5	17	10.5	13
	全 国	94.9		14.5		15.8		11.6		11.3		4.3		10.5	
平成15年	和歌山県	99.1	9	15.3	21	17.3	4	12.4	6	16.3	4	3.6	37	8.6	37
	全 国	94.7		14.5		15.3		11.6		11.8		4.2		10.0	
平成14年	和歌山県	102.2	4	13.4	38	17.7	6	12.2	10	17.2	5	5.1	6	10.4	13
	全 国	97.0		15.0		16.1		11.6		12.6		4.3		9.9	
平成13年	和歌山県	108.7	3	17.4	10	20.0	1	13.2	5	18.8	5	2.6	46	9.0	43
	全 国	100.3		16.0		16.5		11.9		13.1		4.2		10.3	

※ 死亡率は人口10万対の数値

（出典：平成24年人口動態統計（確定数））

〈部位別・性別罹患割合(和歌山県 2010年)〉

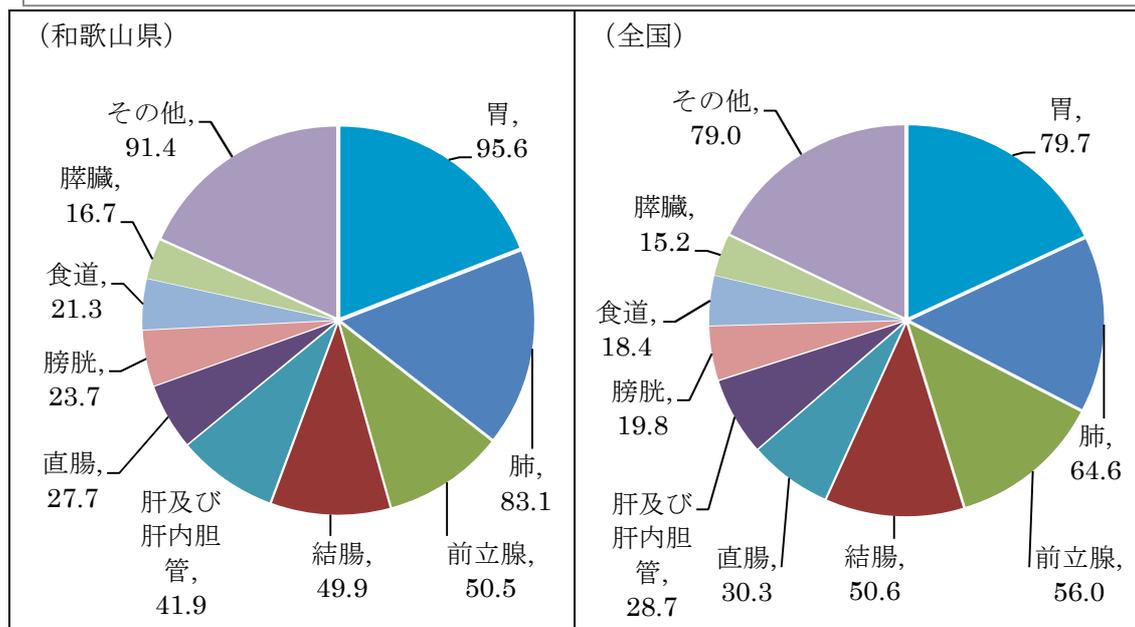
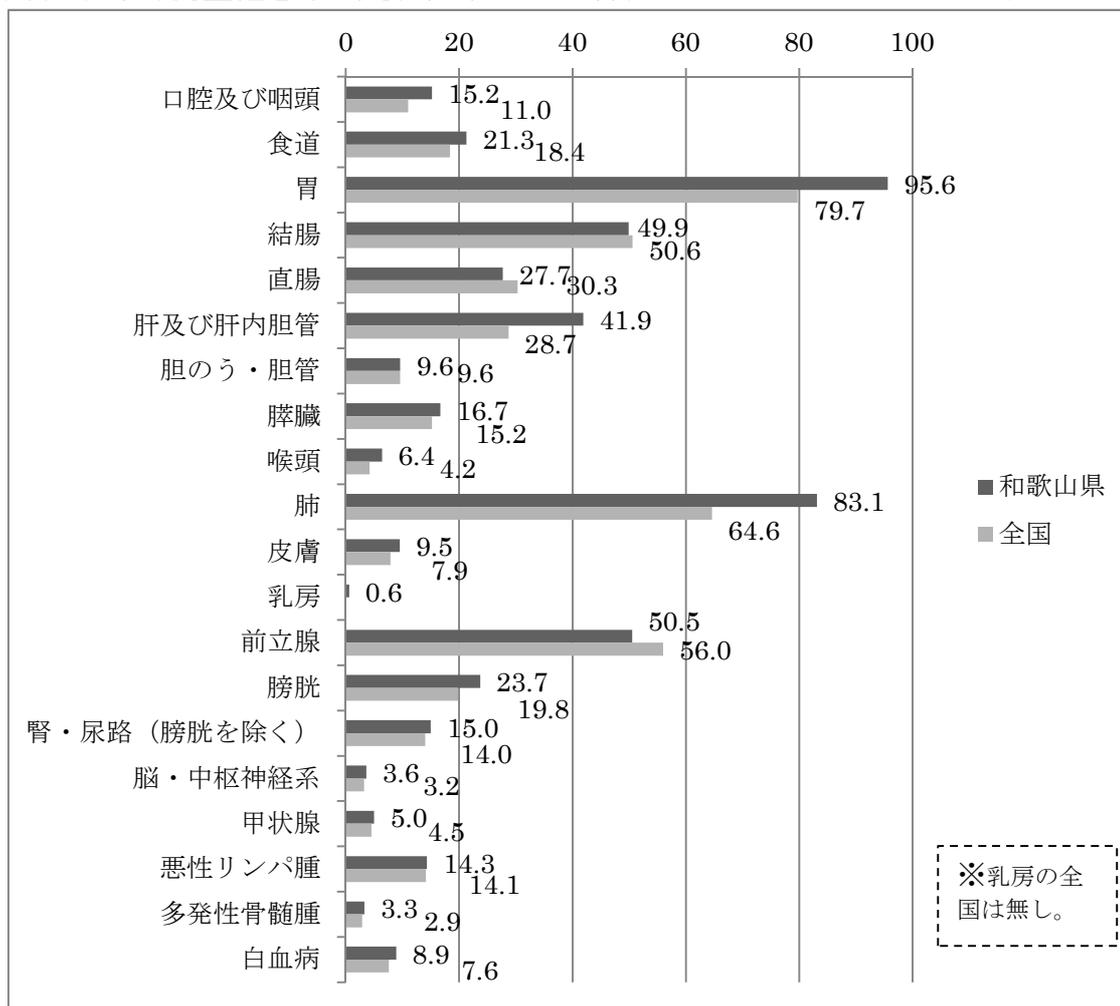
(%)



(出典：和歌山県地域がん登録事業報告書)

〈部別年齢調整罹患率（男性）（2010年）〉

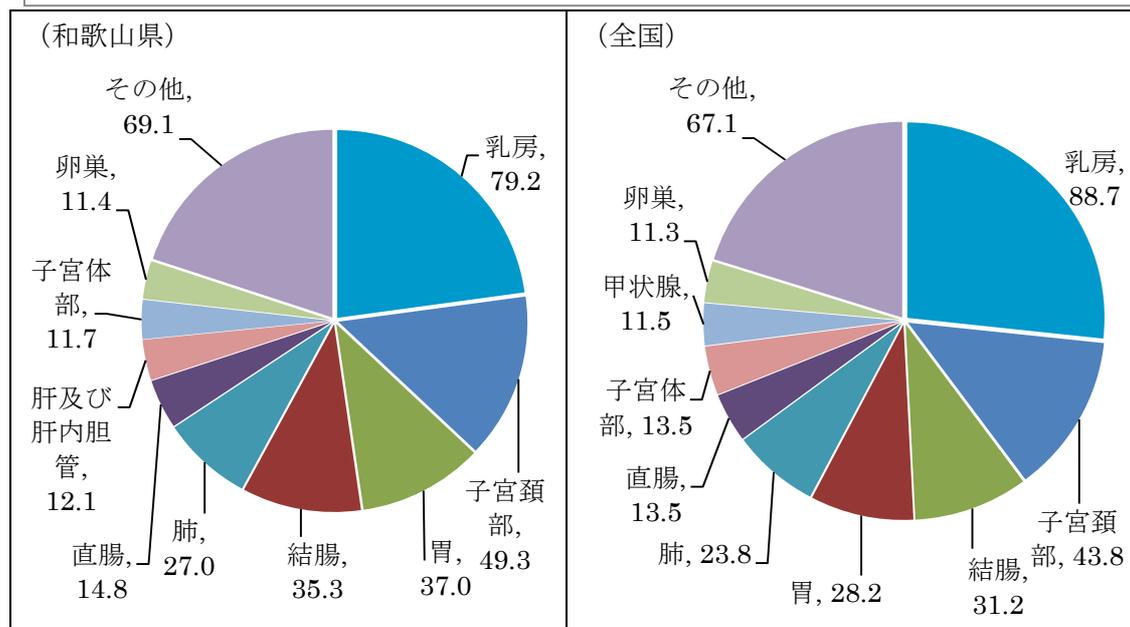
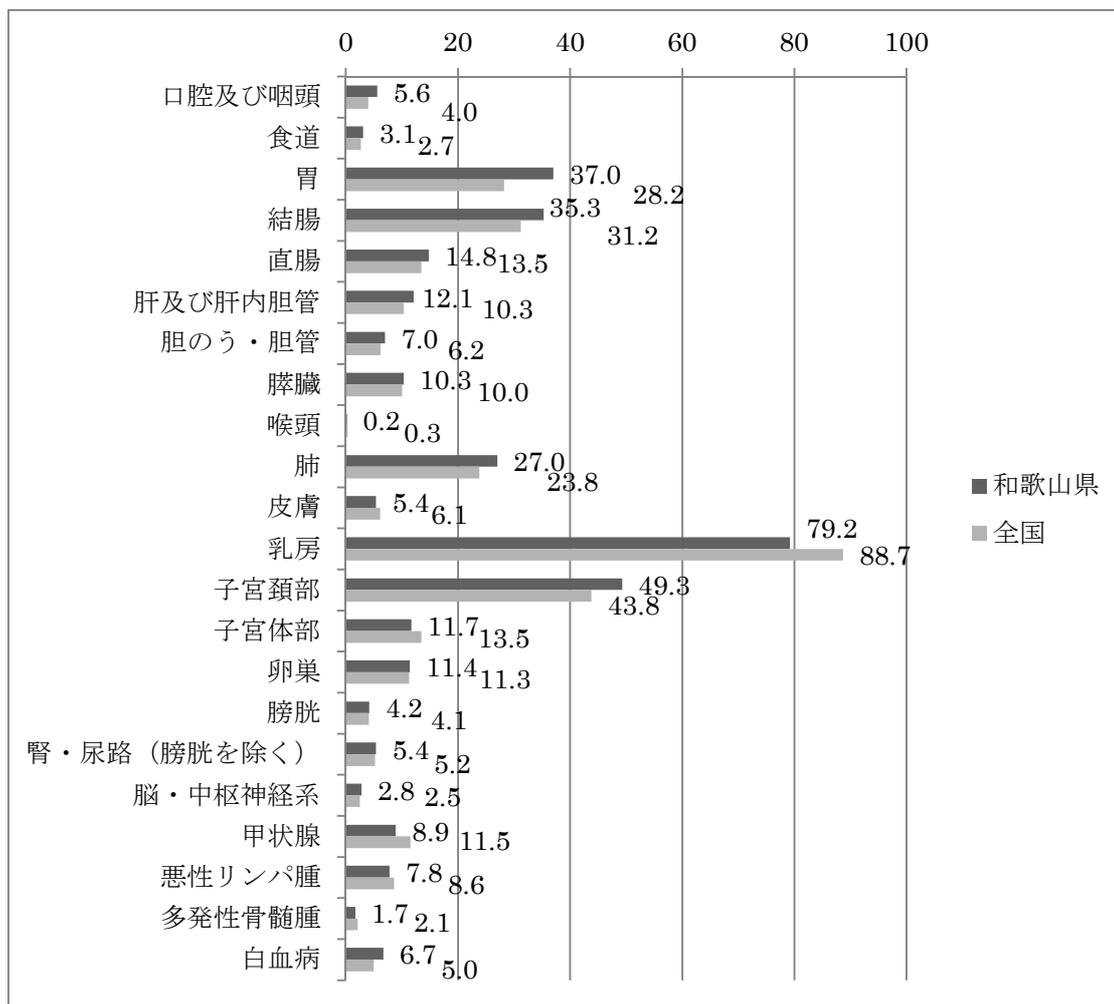
※人口10万対の数値



（出典：和歌山県地域がん登録事業報告書、全国がん罹患モニタリング集計）

〈部位別年齢調整罹患率（女性）（2010年）〉

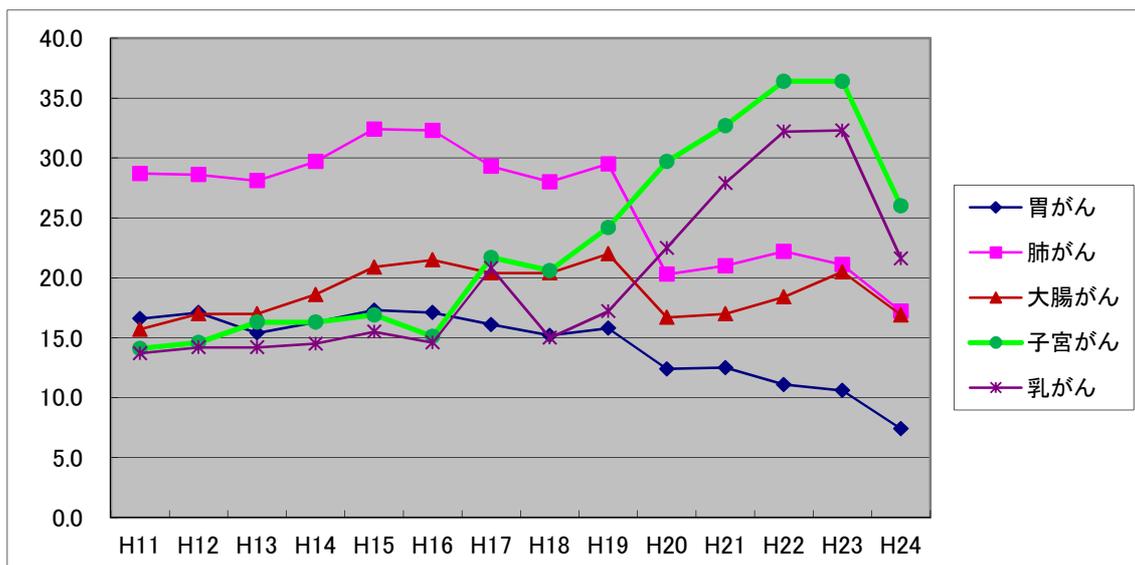
※人口10万対の数値



（出典：和歌山県地域がん登録事業報告書、全国がん罹患モニタリング集計）

〈がん検診受診率（全年齢）の推移（和歌山県）〉

(%)

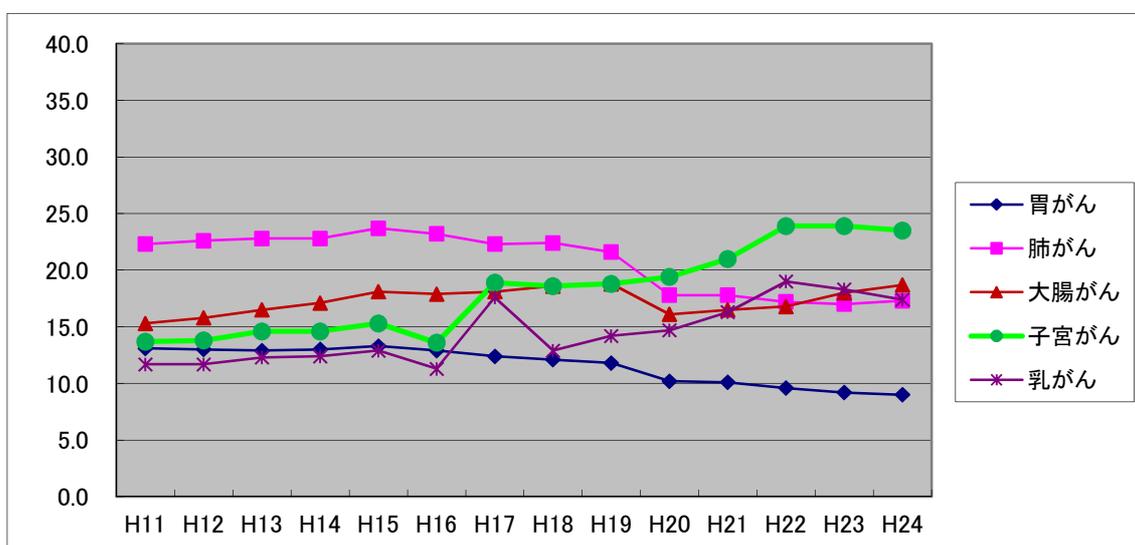


※ H24 年度から地域保健・健康増進事業報告で各市町村の計算方法を統一したことから、H24 年度の受診率は下落したが、肺、子宮、乳の受診率（全年齢）は全国より高い。

(出典：地域保健・健康増進事業報告)

〈がん検診受診率（全年齢）の推移（全国）〉

(%)



(出典：地域保健・健康増進事業報告)

〈がん検診受診率（69歳以下）の状況〉

(%)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
H24(69歳以下)	和歌山県	11.1	22.4	24.0	42.9	38.1
	全国	10.0	16.3	18.9	31.8	26.3

(出典：地域保健・健康増進事業報告)